参考様式第５－２号

# 地域計画

| | |
|---|---|
| 策定年月日 | 令和7年3月31日 |
| 更新年月日 | （　　） |
| 目標年度 | 令和16年度 |
| 市町村名<br>（市町村コード） | 南あわじ市<br>28224 |
| 地域名<br>（地域内農業集落名） | 中山<br>（中山） |

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

## 1　地域における農業の将来の在り方

### （1）　地域計画の区域の状況

| | |
|---|---|
| 区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域） | 13.7 ｈａ |
| ①　農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積 | 12.9 ｈａ |
| ②　田の面積 | 13.5 ｈａ |
| ③　畑の面積（果樹、茶等を含む） | 0.2 ｈａ |
| ④　区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計 | 4.5 ｈａ |
| ⑤　区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計 | 0.0 ｈａ |
| （参考）区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計 | 9.5 ｈａ |
| うち後継者不在の農業者の農地面積の合計 | 0.7 ｈａ |
| （備考） | |

注１：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
　２：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
　３：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
　４：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
　５：（参考）の区域内における○才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
　６：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

### （2）　地域農業の現状及び課題

当地域は水稲と露地野菜栽培の経営が中心であるが、畜産農家もいることから耕畜連携も行われている。兼業農家が多い中で精力的な農家も存在している。耕作放棄田が山裾地域に発生しつつあり、今後、農家の高齢化及び獣害の増加等による耕作放棄田の増加が懸念される。また、大部分が中山間地域であることから農地の維持管理に加えて獣害対策や法面の管理にも労働時間を取られている。

### （3）　地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

当地域においては水稲と玉葱・白菜・レタス・キャベツ・ブロッコリーの露地野菜作付けが中心となっており、裏作の作付けによる地力の低下を防ぐため、耕畜連携による稲わらの供給やWCS用稲を作付けして飼料作物と堆肥との交換による土づくりを行い化学肥料の削減につなげている。露地野菜の玉葱については高齢化が進むにつれ労働力を補完しないと現状の面積を維持できなくなることが想定され、今後、機械化や農業支援サービス事業者等への農作業委託による負担軽減を検討していかなければならない。

## 2　農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

（１）農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

農地を貸し付ける場合は、可能な限り貸付地の隣を耕作するものに預け少しずつ農地の集団化を進める。

（２）担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標

| | | | |
|---|---|---|---|
| 現状の集積率 | 31.9　　％ | 将来の目標とする集積率 | 31.9　　％ |

| （3）農用地の集団化（集約化）に関する目標 |
|---|
| 地域内農地については、原則、地域の担い手が優先的に借り受け、効率的な農業経営ができるよう努める。また、空き農地は極力、隣接で耕作する者が借り受けることができるよう努める。 |

3　農業者及び区域内の関係者が２の目標を達成するためとるべき必要な措置

| （1）農用地の集積、集団化の取組 |
|---|
| 地域計画の見直しを毎年行う上で、農地を手放す農家がいた場合は、隣接する耕作者や規模拡大を行う耕作者に農地中間管理機構を通じて貸付けを行い、集団化を進めていく旨、周知していく。 |
| （2）農地中間管理機構の活用方法 |
| 利用権設定されている農地は期間満了後に農地中間管理機構に付け替える。また、地域計画策定後は新規で農地の貸し借りを行う場合については、農地中間機構を活用することとする。 |
| （3）基盤整備事業への取組 |
| 地域内では大半が基盤整備済であるが未整備区域が一部存在する。農地の貸し借りを円滑に行うには耕作条件が整わなければ困難であることから未整備区域についても地区内で話し合いを行い負担金ゼロの基盤整備について検討していきたい。 |
| （4）多様な経営体の確保・育成の取組 |
| 当地域では昔から兼業農家が多く、今後も地域の農地については、地域で守っていくことを基本とするため、兼業農家において円滑な経営継承ができるよう地域一体となって取り組む。 |
| （5）農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 |
| 玉葱・白菜等重量野菜の収穫等の農作業委託支援を今後、検討していく。 |

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ☑ | ①鳥獣被害防止対策 | ☑ | ②有機・減農薬・減肥料 | □ | ③スマート農業 | □ | ④畑地化・輸出等 | □ | ⑤果樹等 |
| □ | ⑥燃料・資源作物等 | ☑ | ⑦保全・管理等 | □ | ⑧農業用施設 | ☑ | ⑨耕畜連携等 | □ | ⑩その他 |

【選択した上記の取組内容】
①地域による鳥獣被害対策の集落点検マップ（侵入防止柵や檻の設置状況、目撃・被害発生場所等）づくりや、被害発生地域への侵入防止柵の設置を行っていく。
②⑨耕畜連携を地区内で推進し、畜産農家から生産される堆肥を活用し、減肥栽培の取り組みを進める。
⑦中山間地域等直接支払交付金制度を活用し、傾斜の厳しい農地や法面等の保全・管理を実施していく。

4　地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

| 属性 | 農業を担う者（氏名・名称） | 現状 | | | 10年後（目標年度：令和 16 年度） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 経営作目等 | 経営面積 | 作業受託面積 | 経営作目等 | 経営面積 | 作業受託面積 | 目標地図上の表示 | 備考 |
| | | | ha | ha | | ha | ha | | |
| | | | ha | ha | | ha | ha | | |
| | | | ha | ha | | ha | ha | | |
| | | | ha | ha | | ha | ha | | |
| | | | ha | ha | | ha | ha | | |
| | | | | | | ha | ha | | |
| | | | | | | ha | ha | | |
| | | | | | | ha | ha | | |
| | | | | | | ha | ha | | |
| | | | | | | ha | ha | | |
| | | | ha | ha | | ha | ha | | |
| | | | ha | ha | | ha | ha | | |
| | | | ha | ha | | ha | ha | | |
| | | | ha | ha | | ha | ha | | |
| | | | ha | ha | | ha | ha | | |
| 計 | 0経営体 | | 0 ha | 0 ha | | 0 ha | 0 ha | | |

別紙のとおり

注１：「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

２：「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

３：農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

４：作業受託面積には、基幹３作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

５：備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5　農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

| 番号 | 事業体名<br>（氏名・名称） | 作業内容 | 対象品目 |
|---|---|---|---|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

6　目標地図（別添のとおり）

7　基盤法第22条の３（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

| 農用地所有者等数（人） | | うち計画同意者数（人・％） | |
|---|---|---|---|

注１：「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注２：「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注３：提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4　地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

| | 属性 | 農業を担う者（氏名・名称） | 現状 | | | 10年後（目標年度：令和 16 年度） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 経営作目等 | 経営面積 | 作業受託面積 | 経営作目等 | 経営面積 | 作業受託面積 | 目標地図上の表示 | 備考 |
| 1 | 利用者 | | 水稲、露地野菜 | 0.30 ha | ha | 水稲、露地野菜 | 0.30 ha | ha | A | |
| 2 | 利用者 | | 水稲、露地野菜 | 0.98 ha | ha | 水稲、露地野菜 | 0.98 ha | ha | B | |
| 3 | 利用者 | | 水稲、露地野菜 | 0.75 ha | ha | 水稲、露地野菜 | 0.75 ha | ha | C | |
| 4 | 認農 | | 水稲、露地野菜 | 0.70 ha | ha | 水稲、露地野菜 | 0.70 ha | ha | D | |
| 5 | 利用者 | | 水稲、露地野菜 | 0.72 ha | ha | 水稲、露地野菜 | 0.72 ha | ha | E | |
| 6 | 利用者 | | 水稲、露地野菜 | 0.46 ha | ha | 水稲、露地野菜 | 0.46 ha | ha | F | |
| 7 | 利用者 | | 水稲、露地野菜 | 0.77 ha | ha | 水稲、露地野菜 | 0.77 ha | ha | G | |
| 8 | 利用者 | | 水稲、露地野菜 | 0.87 ha | ha | 水稲、露地野菜 | 0.87 ha | ha | H | |
| 9 | 認農 | | 水稲、露地野菜 | 1.80 ha | ha | 水稲、露地野菜 | 1.80 ha | ha | I | |
| 10 | 利用者 | | 水稲、露地野菜 | 0.99 ha | ha | 水稲、露地野菜 | 0.99 ha | ha | J | |
| 11 | 利用者 | | 水稲、露地野菜 | 0.54 ha | ha | 水稲、露地野菜 | 0.54 ha | ha | K | |
| 12 | 利用者 | | 水稲、露地野菜、飼料作物 | 0.92 ha | ha | 水稲、露地野菜、飼料作物 | 0.92 ha | ha | M | |
| 13 | 認農 | | 飼料作物、自己保全 | 1.86 ha | ha | 飼料作物、自己保全 | 1.86 ha | ha | N | |
| 14 | 利用者 | | 水稲、露地野菜 | 0.37 ha | ha | 水稲、露地野菜 | 0.37 ha | ha | P | |
| | | | | ha | ha | | ha | ha | | |
| | 計 | 0経営体 | | 12.04 ha | 0 ha | | 12.04 ha | 0 ha | | |